

広島県感染症発生動向月報

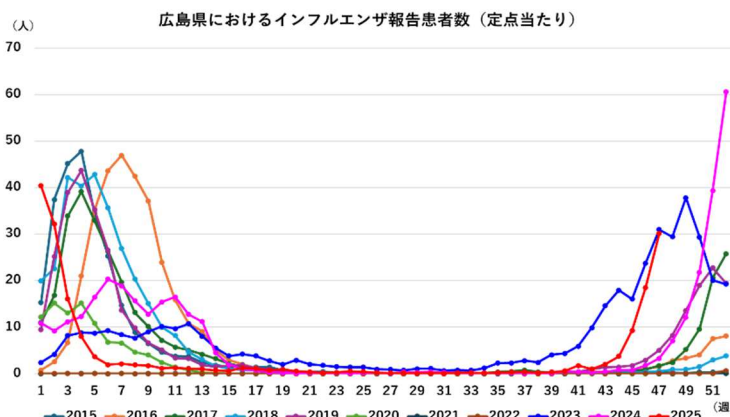
[広島県感染症予防研究調査会]
(令和7年 11月解析分)

1 今月のトピックス

■ インフルエンザが流行拡大しています。感染予防対策の徹底を！！

季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が広がる傾向があります。全国では第39週（9月22日～9月28日）にインフルエンザの定点当たり報告数が1を上回り、流行入り、県内においても第41週（10月6日～10月12日）に流行入り、45週（11月3日から11月9日）には注意報（定点当たり報告数10以上）を、47週（11月17日から11月23日）には警報（定点当たり報告数30以上）を発令しています。季節性インフルエンザの警報発令は、1年を通して流行した2023年シーズンに次いで過去10年間で2番目に早い発令となります。

この先も、空気が乾燥して気道粘膜の防御機能が低下するなど、インフルエンザにかかりやすい時期が続きます。冬季は季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されるため、下記の対策を十分に行い、感染予防対策を徹底しましょう。



■ インフルエンザを予防する有効な方法

- ・ 流行前のワクチン接種
- ・ 外出後の手洗い等
- ・ 適度な湿度（50～60％）の保持
- ・ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ・ 人混みや繁華街への外出を控える
- ・ 室内ではこまめに換気をする

■ 12月1日は「世界エイズデー」

WHO（世界保健機関）が1988年に、エイズのまん延防止や患者・感染者に対する差別偏見の解消を目的として、12月1日を「世界エイズデー」と定め、エイズに関する啓発活動などの実施を提唱しました。

運動のシンボルであるレッドリボンには、エイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージが込められています。

広島県においても、12月1日を中心に啓発活動などを実施しており、昨年に引き続き12月6日に広島市内でレッドリボンキャンペーンを実施します。

また、県ホームページから検査の日程等も確認できますので、検査を希望する場合は、事前に電話予約のうえ、受検ください。世界エイズデーに合わせ、検査時間を延長する保健所などもあります。



広島県 エイズ検査

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年10月分(令和7年10月6日～令和7年11月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	19,788	52.63	-	→	11	突発性発しん	43	0.19	0.29	↗
2	インフルエンザ ※3	790	2.10	0.27	↑	12	ヘルパンギーナ	40	0.18	0.54	↓
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	1,028	2.73	-	↓	13	流行性耳下腺炎	8	0.04	0.03	
4	RSウイルス感染症	405	1.78	1.46	↗	14	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.01	
5	咽頭結膜熱	74	0.32	0.25	→	15	流行性角結膜炎	110	1.45	0.30	↗
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	436	1.91	0.72	↗	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	784	3.44	2.37	↘	17	無菌性髄膜炎	4	0.05	0.02	
8	水痘	39	0.17	0.07	↗	18	マイコプラズマ肺炎	188	2.35	0.35	↑
9	手足口病	91	0.40	2.04	→	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	205	0.90	0.00	↘	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年10月分(10月1日～10月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	63	2.86	3.58	↘	25	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	90	4.50	3.28	↗
22	性器ヘルペスウイルス感染症	22	1.00	0.91	↘	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	0.08	
23	尖圭コンジローマ	10	0.45	0.68	↘	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.04	
24	淋菌感染症	23	1.05	1.18	↘	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 インフルエンザ (0.34 → 2.10)
マイコプラズマ肺炎 (1.08 → 2.35)
○急減疾患 新型コロナウイルス感染症(covid-19) (7.68 → 2.73)
ヘルパンギーナ (0.39 → 0.18)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内155の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	37	57	19	22	20	155

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	29	結核(29)〔西部保健所(3)、西部東保健所(2)、東部保健所(9)、北部保健所(1)、広島市保健所(5)、呉市保健所(2)、福山市保健所(7)〕
三類	12	腸管出血性大腸菌感染症(12)〔西部保健所(1)、西部東保健所(2)、広島市保健所(2)、呉市保健所(1)、福山市保健所(6)〕
四類	27	レジオネラ症(9)〔西部保健所(2)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(3)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 日本紅斑熱(17)〔西部保健所(2)、東部保健所(7)、呉市保健所(1)、福山市保健所(7)〕 日本脳炎(1)〔福山市保健所(1)〕
五類	254	アメルバ赤痢(1)〔西部東保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(2)〔福山市保健所(2)〕 急性脳炎(2)〔広島市保健所(2)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔広島市保健所(2)〕 水痘(入院例)(1)〔西部保健所(1)〕 播種性クリプトコックス症(1)〔東部保健所(1)〕 梅毒(19)〔西部東保健所(1)、東部保健所(2)、広島市保健所(11)、福山市保健所(5)〕 百日咳(222)〔西部保健所(19)、西部東保健所(69)、東部保健所(7)、広島市保健所(62)、呉市保健所(16)、福山市保健所(49)〕